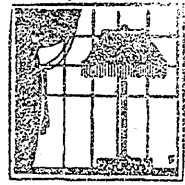


刊夕日二拾月貳拾



定価 一月五拾圓 三月一拾五圓 半年二拾五圓 一年四拾五圓
廣告料 五圓以上 十二圓以下 一行五拾圓
日曜祭日の翌日休刊
発行所 常磐新聞社 平野町三丁目三番地
電話 六三〇〇
印刷所 常磐印刷株式会社



傳明に訊く 座談會

題にせず無理矢理主演者としてカメラの前に立たされたのが現在への首途といふわけだ。
C 大分曲折があつたわけですね。

出席者—
鈴木傳明
橋六郎
河田正
福島民報 島田春雄
本社 梅崎安彦

B 映畫へのスタート。
鈴木さんの映畫界生活も随分長いものでせう、たしか「路上の靈魂」が最初だと思ひますが。

鈴木 僕が映畫界へ入るまでが面白いのですよ、はじめ僕達學生仲間會話を練習する團體があつて「會話の上達の捷徑は翻譯劇から」といふので翻譯劇をやり出したところ

電話機は 一八七六
年に聳座
學校の先生グラハムベル
下宿屋の屋根住ひをなし
がら之を研究して遂に完成
大分興味に乗つてきて數
名の學生と「踏路社」とい
ふ演劇團體を創設して演
劇を始めたのです、最初

は觀衆も極く僅かだ五六名位な寂しい入りでやつと會員券を買つて貰ふといふ情けない状態でした十七歳の時、歸山教正、村田實等の藝術映畫協會に加盟して働きましたがこの頃は村田實の乗つてゐる馬の轡をとつてゐるといふ役をやつたことがありましたが、この思ひ出多いフィルムを今でも記念に藏つてあります、その後、創設された小山内薫研究所に入り伊藤大輔らと肩を列べて仕事をしました「映畫の全般を知らねば駄目だ」といふ小山内さんの言葉を奉じてこゝで僕は助監督を一年、俳優一年半カメラ半年の研究を續けた揚句に衣裳から小道具の仕事までしました、大正九年第一回作品として「路上の靈魂」を製作することに

なつた時、主演者根津新がある事件のため出演不能に陥つたので偶々僕が下手ながらもヴァイオリンが弾けるといふだけの理由で、性格も演技も問

【朝】味噌汁—かぶ
小付 梅干
【晝】玉子 バタいた
めねぎ 玉子
【晚】寄鍋 次郎長清
はりく

したが、野心的な映畫の製作を企圖して鈴木重吉岡田時彦、高田稔らと不二映畫を創設、雄飛せんとして成らず、その中に經濟的に敗れて、古巣日活に戻り、一年有餘の後再び出で現在の第一映畫社に至つたわけでありま

す。

外科 X 光線科

性病科
外科科
科科科

平町田町
安齊外科醫院
電話四七五番

入院隨意

有給外務員數名募集

廿五才以上 經驗の有無を不問男女數名
固定給の外旅費支給す
御希望の方は履歴書持參來談を乞ふ
(明治十四年創立)
保險の開祖

明治生命保險株式會社
事務所
平野町
小野 康
平 仲町

忘年会 新年會

萬事御希望に副ふやう勉強して御奉仕致します
御通知下されば當方より早速參上如何やうにも御相談に應じます

尙餘興舞臺が出来ました
平町紺屋町
住吉屋本店
電話一五九番

歳末謝恩... 奉仕

靴!!! 三圓以上... 一割引
◎期間 十二月三十日迄デ
◎定評有る... 大塚の靴
◎絶対信用有る... 大塚の靴
たとひ呼ばは安くも品が落ちては御損では御座りませんか

實際良く 實際丈夫で 實際安い

白製ホックス 編上靴 五、五〇〇
紳士用 短靴 七、〇〇〇
七五三... 御祝子供靴 各種
新年用... 禮式靴 各種

御用は 大塚製靴部へ
平町田町 電話七七番

高久病院

院長 醫學士 高久 忠
副院長 新潟醫學士 赤羽 清
藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄

内科小兒科 平町田町 電話五一三番
耳鼻咽喉科 外科花柳病科
レントゲン科

祝七五三

楽しい皆様の七五三の御祝ひが参りました。
お健やかに成長なさつた可愛いお子様方のお姿を記念にお寫眞に撮つて保存いたしませう。
此のお目出度い記念を當館も御祝ひいたさせて戴く意味で且つ從來の御引立を戴いた御禮の印迄に特に割引をいたします、其上立派な景品を差上ります。是非お宮参りの御歸りがけに御立寄り下さいませ。

平町才穂小路一番地(田町大通り)
ライト寫眞館
電話五三三五

十八名の青年が

平町に流れ込む

石城は景氣が好いと

聞いて就職口探しに

▽面喰つた紹介所

凶作地を逃がれ

凶作地を逃がれ
出た青年の一團
がけふ平職業紹
介所に押かけて
所員を面喰はせ

た、即ち山形縣北村山郡戸
澤村東海林幸雄外十一名及
び西村山郡川土井村から三
名、東村山郡出初村から二
名合計十七名の

青年が

景氣がよいと聞いたのでや
つて来たが」と就職斡旋を
嘆願したので磐炭へ十二名
勿來大日本炭礦へ五名を就
職させたが今後舊炭未が迫
るにつれこうした求職群の
來郡が續出するものと
見込み此就職口に就き同
所では遺憾なきを期して準
備の手を進めつゝある

酒造減石

杜氏は新潟

醸造の注意

平稅務署管内に於ける昭和
十年度の清酒仕込高は總計
一萬三千五百六十六石で前
年の一萬四千七百七十七石
に比較して一千二百一十石
を減じてゐる、なほ同署で

は醸造初めに際し去る十日
縣の竹内技師を招聘酒造業
者及び杜氏を集めて醸造上
の注意を行つたが三十七軒
の管内酒造家に現在住込ん

でゐる杜氏の出身郷里は左
の如く新潟縣の十九名が筆
頭である
新潟一九 岩手一〇 福
島五 兵庫二

金の飛躍に連れ

試堀が増加

▽探す寶の山

平稅務署管内に幾つ?

平稅務署管内に於ける明年
度礦産稅調定額は採堀一〇
三件二萬六千二百八十圓、
試堀八十一件一萬三千四百
十圓と決定した、九年度に
比較すると採堀三件八十圓
試堀十二件三千五百圓のと

高麗橋を中心として

眞木翁の懷古事談

前厄の父が風雪を

冒して長途の旅へ

父は時々襲ひ來る風雪を
冒して廣瀨川の溪谷を伴並
へと溯り、更に益々西進す
れば三里の間人を見ず、溪
流は山を研つて走り、半日

つて探礦が活潑に行はれつゝ
ある事實を示すものとし
て注目されてゐる、試堀が
かかる増加を見たのは漸次
礦業界が躍進の一途を辿る
ものとして一般から喜ばれ
てゐる

米を賣る者

一名もない

政府買上手を焼く

平穀物検査所管内の政府買
上米は去る七日平、大浦兩
指定倉庫に於いて入札法に
よる買上を行つたが地方米
價の引下が目的である爲め
一石に付廿六圓四十五錢よ
り安値でなければ買上げな
いので入札者一名もなく同
支所も買上米の斡旋には手
を焼いて居る

貧農救済の工事

橋梁二ヶ所の架替開始

米を賣る者

一名もない

政府買上手を焼く

平土木監督所では九年度災
害復舊工事として左記二橋
の架替を施行するがうち
縣補助は井坪橋百八十圓、
境橋六百八十七圓と決定し
た、近く冷害凶作の意味で
貧農を役使して着工の筈

翌日こゆる路はいづこそ
嶺の雪
峠を降れば、最上川の河孟
の平地が開けて、東根、楯
岡、尾花澤等の市邑が、次
から次へ、南から北へ點々
續いて居る、舟形を過ぎ、
鬱然たる新庄城を右に見て
西又西へと最上川を降つた
清河から陸路を採り、狩川
藤島を過ぎ、見果てもなき
程の平田の間を辿り、線船
にて赤川を渡れば、愈莊内

小麥増殖

品評會開催

石城郡農會では十二日午前
十時から平町團體事務所
名町村農業技術員を招き小
麥増殖品評會開催日取り等
に就て協議したが縣から廣
岡事務官臨席した

山田農事會議

山田
村農事實行組合長會議は十
一日午前十時から同村小學
校で開き俵米品評會開催日
取り決定明年度實施事項、
不況克服更生計畫等に就て
協議了つて郡農會柴田技手
の講演あつた

教育上の融和

教育上の融和

上の聯絡融和を圖る爲めの
平町各中等學校及び小學校
の校長會は本日午後二時よ
り第二校會議室に於て開か
れた

平町人事

回出生

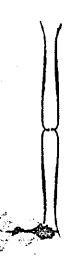
- △古銀治町二九 菅野龜太
- △新川町一二 伊藤浪之助
- △氏三男友三さん

平職業紹介所報告

- △求人を求める方
- △銀冶工 十八才から二十
- △四五才まで 尋卒月十圓
- △位
- △荷上夫 三十才以下 學
- △力不問 日給一圓位
- △自動車運轉助 二十才か
- △ら二十五才位 尋卒 日
- △八圓位
- △女中 二十才前後 尋卒
- △以上 月五、六圓
- △女中 二十才前後 尋卒
- △月給五圓程度
- △職工見習 三十五才から
- △十八才 尋卒以上 日給
- △六十五錢
- △小店員 十五、六才 尋
- △卒 仕着小遣

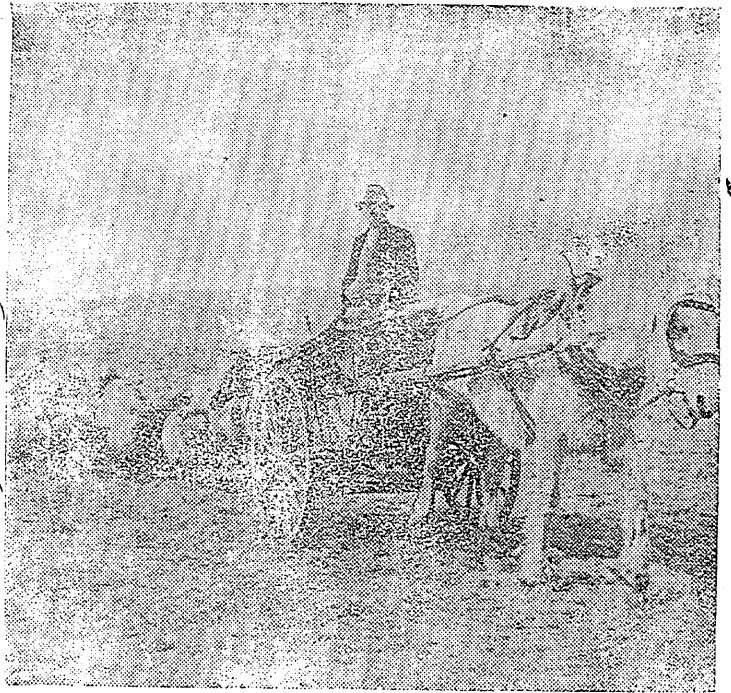
回職を求める方

- △工場火夫 三十才 高卒
- △雜夫 三十才 高卒
- △工場雜役 二十五才 尋
- △四修
- △外交員 三十五才尋二修



來雪滿山
父は壯齡四十有一、世俗の
所謂前厄だが、兎にも角に
も、生命を全うして歸つて
來たのだ。

馬車の轢音も寒く、コンドン郊外の冬



歳末の間を走る車

十日夜一齊取締

平署管内で百七件告發

歳末特別取締りのため平署では十日夜全署員を動員して平、内郷、湯本、小名濱、江名の管内主要町村に於て自動車、自轉車、荷馬車の無燈火取締りを執行したところ
平四五 内郷一八 湯本二四 小名濱一八 江名三
合計百七件の無燈火を發見即決一圓乃至三圓の科料處分に付した

正月の餅が 既報石今年は高い 城地方の糯米收穫高は冷害の祟りで平年作の一萬五千石より

右手人差し指に公傷を負つた際囑託醫が代診任せにしてゐた爲め全治せず遂に不具になつた
と門傳辯護士を代理人として大日本炭礦會社及び同礦囑託醫勿來町小林義忠氏を相手取り平支部に損害賠償並に慰料料二千二百餘圓の請求訴訟を提起した事件は來る十七日第一回口頭辯論を開廷する事になつたが同氏は貧困の爲め訴訟費用は勿論その他の諸費用を支辨する力がないので同情した門傳辯護士が救助方を申請

飢えに戦く 困窮に恵む

助成會の相談

本年は戸別募金を廢止

平町助成會では歳末の迫つた昨今寒さと飢餓戦に戦く貧民を救済するため昨十一日午後一時から平町役場で委員會を開き協議した結果、今度は凶作風水害等の義捐金募集の頻出した際なので例年の戸別募金を廢止して同會の基本金の内から百十八圓七十錢を醸出して町内の極貧者八十四戸に對し來る二十日頃までに一人當り五十錢、三人八十錢の割で合計三百五十六人に救済金を支給温かい正月を迎へさせることになつたが更に舊歳末には方面委員善華會らが主となつて托鉢を行つて救済義金に充てる筈である

訴訟費用 一切免除

裁判所の温愛 氣の毒な公傷者に 裁判所の温愛 既報勿來町鈴木板吉(九)氏が大日本炭礦會社に難夫として雇はれ作業中

明日のラジオ 拾三〇
明日のラジオ 拾三〇
明日のラジオ 拾三〇

- 今晚の部
後六、〇〇 子供の時間
童謡と唱歌 宮城縣若柳小學校兒童
後六、二五 基礎英語講座
(三七)岡倉由三郎
後七、三〇 講演「天明天地方の飢饉」第二高等學中の處才判長より許可される訴訟費用を一切免除される

踏切で遊んで居た 三歳の幼女轢かる
内郷村大字白字入山三七坑夫安齋彌三女なつえ(三)は昨十一日午後一時頃自宅前の壽炭礦専用軌道踏切附近で遊戯中折から急進して來た平機關車會川鶴吉運轉の機關車に轢かれて無慘の即死

金が苦面出来ぬと 刑務所入りを志願
荷路夫村日雇鈴木龜吉(五)は此程賭博罪に依り略式罰金百圓に處されたが本日本検事局に出頭凶作の爲め幾ら働いても百圓と纏つた大金は苦面出来ないと自ら勞務場入りを望み刑務所に收容された

不定期列車が 動き出します
平驛の(上野仙臺間)不定期列車上り二時二十分下り二時五十分間本月廿二日より一月九日迄運轉されるのは非常に便利となる

- 明日の部
後七、〇〇 基礎獨語講座(三十九)岡本修助
後七、三〇 聖典講義 梵網經十一文學博士長井眞琴
前九、〇〇 衛生メモ
前九、一〇 料理献立 兔の里汁 森田南湖
前一〇、三〇 趣味講座「日本の庭園を語る」西川一草亭
後一〇、〇五 琵琶「雪晴れ」宮崎錦陽
後二、〇〇 家庭講座「兒童の偏食」醫學博士 齊藤潔

板の間縁さ 植田で捕る
當時住所不定自稱小野新町生れ窃盜前科一犯齊藤五郎(三)は十日夜勿來町大日本炭礦飯場から現金二十圓を窃取した外同坑共同浴場から十餘件の板の間縁さを働らき十一日夜植田町を徘徊中同署員に逮捕された
無免許周旋業 湯本町字三箇高木毅(五)は去る十月十日無免許で小名濱町字舟引庄太郎二女柳内すそ(二)を東京市兩國の湯屋磐崎某方に女中に周旋し多額の周旋料を受つたこと發覺目下平署で横領並に無免許周旋で取調中

機關銃披露會 既報
在郷軍人内郷分會の機關銃披露聯合演習は都合に依り來る十六日に延期されたが若し當日雨天の際は二十三日に延期する由

遠足運動延期 既報
明十三日催す平第一小學校の遠足運動會は都合に依り二十日に延期した



明治太平記

(無断複製 上映及上演)

(作) 寺島征史
(畫) 野口紅涯

第拾回

辻君(一)

「だが、打見たところ、どうもづぶの素人とアおもしろいな、いづれは数寄屋藝者の成れの果てといったところかな」

「いええ、ほんとうにこんなつづし島田でこんな空解けさうな帯締めて、男に言葉かけられるのは今夜がはじめてなのよ」

「と、まア、うまく素人ぶるのさ……とこでをんな何ならうまく話に乗つてやらうか」

男はしだれ柳の枝葉を指先で弄びながらいつた。

「え、どうぞ」

「しかし何しろ日のあるうちだ、こんなところで取引もでまい、どうだいそこらでちよいと飯でもたべるとしようか」

「……」

「女は急に空腹さを感じてうつろな瞳で、哀願するやうに男をじいとみた。」

「いやか」

「い、え、あのう……どうぞ」

「ぢや、隨いて来たまへよ……」

あつばれな船載仕込……

若い男は物好きにも時勢おくれのみすぼらしい女を河岸の柳の下かげから連れ出した。

サツクコートのひよる長い男はぐんぐん歩いてゆく数寄屋河岸から屋張町の方へ、だが一向にたべもの店



たにかに最良眼にみてもたべもの店ではない。

「はいりたまへ」
格子戸をあけるとそこからすぐ二階へ上る梯子段が構へてゐた。男はトン／＼とさきにのぼつてゆく、女も薄気味わるく段々を踏んだ。

二階は八疊一と室だがそれは表のつくりの純和風とちがつて、ずいぶん異國的な匂ひのする部屋だつた。疊のうへに緋の絨氈が敷かれ黒木の椅子が三脚、机が一脚、希臘風な調刻のある置棚そのうへのゼンマイ時計

その文化開化の明りが女の横顔をいつさう美しく浮彫にしてみせた。

「おい、をんな」
椅子に差向になると男は急に殿しい顔をしていつた

「どうしておまへは河岸の辻君にでるのさ」
「……」
女は慣用語にひとしいお客の退屈な質問に應へる気にはなれず、たゞ眼で笑つてみせた。

「その美しさで、そのお上品さで、あんなくらくらやみに咲かしてをくのの惜しいものだなあ」
「まア、ご冗談ばかり……だつて時勢ですもの爲方ないわ」
「と、いふとやはりその生活のためかい」

防寒毛メリヤス、陳列

婦人毛皮ショール 豊富陳列
ツルヤ
どんなお洗濯にも絶対に縮まぬ……毛シャツと毛ズボン
蟲に喰はれぬ毛メリヤス
寒さを知らぬ真綿入婦人着と都腰巻

國は日本、凍魚はヒノマル
ルマ◎ノヒ
魚 凍
元賣發約特産水本日
社 株式 氷製平
番六-三・八二二話電
屋問魚印ト店理代町平
一番八二五話電一

七五三御祝 洋服 大賣出し
お嬢ちゃんお坊ちゃんのお宮詣りの
可愛らしい洋服オーバを澤山取揃へ
て特價提供是非御來觀下さい
あかや洋服店
十一日ヨリ廿日マデ
平町三丁目電二〇三番

全能式電氣治療法
ラヂウム放射浸透治療
法 紫 光 線 療 法
本療法は異なつた八種の電流を使用し心身共にいふべからざる爽快を覺ゆる裡に最高の治療及増健的効果を遺憾なく發揮させる事が出来るのであります。
……適應症……
神經痛及麻痺、筋肉、關節リウマチス、頭痛、カッケ、ゼンソク、中耳炎、胃腸病一切、カタコリ、淋病、關節炎、皮膚病一切、動脈硬化症、蓄膿症、ウチミ、白、黒ソコヒ、腰痛、手足シビレ、中風、クヂキ、乳腺炎、痔疾一切 其他
◎快癒者よりの禮状山積
伊坂電療院
平町中町二〇

手輕な
忘年会や新年會には
是非御利用下さい
是節柄料理に——御酒に——
萬事御希望に副ふやう勉強して御奉仕すると共に如何様にも出張御相談に應じます
平二警察署裏通り
魚清食堂
電話六六三三
勝手働き女中さん 出前屋さん
◎至急入用

市原醫院
平町 田町
電話一四番